

## 『八王子駅南口とちの木デッキの江戸園芸ツツジが見頃です！』

東京都都市づくり公社では、伝統的な古品種ツツジを身近な場所に植樹し、その素晴らしさを味わい楽しんでいただくなど、特色ある緑化による緑豊かなまちづくりに取り組んでいます。

平成 27 年度～平成 28 年度、八王子駅南口とちの木デッキ花壇に「藤万葉」「日の出霧島」「花車」の植樹を行いました。

3 種の花が現在、見頃を迎えていますので、八王子駅周辺にお出かけの際には、是非お立ち寄りいただき、可憐な花をお楽しみ下さい。



藤万葉



日の出霧島



花車



### 江戸園芸ツツジとは・・・

元禄時代、江戸ではツツジが大流行しました。その中心地が駒込染井です。なかでも、染井の伊藤伊兵衛三乃丞は江戸随一の園芸家として名をなし、自らを「きり鳴屋伊兵衛」と称し、元禄 5 年(1692)、我が国初のツツジ・サツキ図鑑「錦繡枕(きんしゅうまくら)」を発行しました。錦繡枕にはツツジがすでに 170 余品種も記載されています。江戸でブームのツツジは参勤交代などとおして全国に伝えられ、また、その後海外にも伝わるなどして、日本の代表的な園芸の一つとして発展してきました。

庭園をはじめ公園や緑地、街路樹、施設周りには必ずといってよいほどツツジは用いられてきました。それほど身近な花木ですが、近年では、様々な理由から伝えられた豊かな品種の継承が困難な状況にあります。

想像から創造へ、まちづくりのパートナー <http://www.toshizukuri.or.jp/>



TOSHIZUKURI

公益財団法人 東京都都市づくり公社  
Tokyo Urban Planning and Development Corporation

〒192-0904 八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー八王子 7 階  
事業推進部公益事業課緑化担当 TEL042-686-1910